

が聴くものゝ心を捉へ、又用意された二百のベツトは温く労働者を迎へることであらう。佛壇を中心に全面に畫かれた壁畫、運動場の小動物園は子供の安息所となるに十分であり、新に建立された因縁の地藏尊は親しみを投げかけ、動力のウナリは失業者に職を與へ、そしてバリカンの音ハサミの交響樂は職業を輔導しつゝ働く人の頭をおかるくするに違ひない。

この新館の落成式は創立十五週年と共に盛大に行はれる豫定である。(社會事業グラフ参照)

昨秋風水害に大破した

▼…大阪水上隣保館新館上棟式

水の都大阪の水上労働者の學童達にとつて暖かい家となつて力を盡してきた大阪水上隣保館の新館は工費壹萬七千圓の豫定を以て今夏より港區天保町安治川に面した約

四百坪の地に建築中であつたが、去る九月二十二日降りしきる雨中をいとはず喜びの色いつばい集ひよつた船の子ら數十名の中からなるベンザイの叫びに祝福されつゝ希望に輝く上棟式を舉行した。

テント張りの式場には辻理事はじめ來賓評議員ら集り、畠中大阪教會牧師が司式して一同聖歌を合唱し合つたが、十一月末竣工の本館は六十名を收容し得るベツトに、文庫、食堂、事務室、保母室などが設けられ、また附屬の別館には産婦室、分娩室のほか水上生活者に多いトラホーム治療の眼科室が新設され、その事業を擴張される筈である。

▼…今宮第二方面事業後援會生る

十月二十三日發會式舉行

今宮釜ヶ崎方面の西半、一七五七世帯七

、六四九人のカード登録者を有する今宮第二方面では、かねてより後援會のないのを遺憾とし、極力之が設立方を急いでゐたがこの程同地區有志等の盡力によつて名譽會員二名、特別會員三十二名、正會員三百三十七名の今宮第二方面事業後援會が結成、去る十月二十三日午前十一時半から大毎社三階會議室に於てその發會式を舉行した。出席者三百餘名、吉宗副會長の經過報告、中村會長の挨拶があつて後、府社會課長代理小管社會事業主事、志賀市社會部長、松村西成區長、山崎今宮署長など來賓の祝辭あり、閉會後大毎社會事業團西村常務理事の記念講演あり、終つて午後同室で祝宴を開いた。

▼…表彰・社會事業功勞者

全國社會事業大會にて

第八回全國社會事業大會は去る十月二十